



秋田の思い出、 未来への思い

〔秋田市観光クチコミ大使〕
ダイヤソルト株式会社
取締役副社長

にし むら しゅん じ
西村 俊治 氏

今冬は東京でも寒い毎日が続きました。秋田も寒く、雪の多い毎日であったと伺っております。秋田在住の友人からは、連日の「雪寄せ」（この言葉は秋田に赴任して初めて知りました…）にいささかお疲れとの便りをいただきました。秋田駅前のバスターミナルが雪天の中で墨絵のように浮かぶTVのニュース画面を見たとき、懐かしさと少しの切なさで胸がいっぱいになりました。

私は神戸で育ちましたが、札幌、大阪、東京、静岡や米国東海岸、東南アジアなどで生活もしました。各地で素晴らしい経験をし、皆さんと交流させていただきましたが、中でも秋田での数多くの思い出が鮮やかに蘇ります。

秋田の思い出、それらの殆どは人、文化、自然の豊かさに結びついております。おおらかで少々シャイな人々、竿燈・盆踊り・かまくらなどの祭りや豊かな大地や海からの食材と日本酒、白神・森吉・鳥海などの山々、男鹿の海そして身近で感じる美しい四季のうつろい…。今まで私が住んだ中で一番、「日本らしさ」を感じる土地でした。

私が勤務しておりました、三菱マテリアルは約70年にわたり、秋田市茨島地区で操業してまいりました。当初は亜鉛の製錬事業を営んでおりましたが、一時期は事業縮小もありました。現在はグループで電子材料や自動車産業向けの素材を中心に製造しており、多くの従業員が勤務しております。永年にわたる地域の皆様のご理解、商工会議所や行政からのご支援に厚くお礼申し上げます。また、県北や県南地域において地熱や水力発電事業も行っており、現在も発電量アップのための投資を実施中です。

会社や事業所の運営面からみると、少子高齢化問題は大きな課題です。しかし、秋田では既に秋田版

CCRC やコンパクトシティ化構想などが進められており、今後少子化対策も含めて日本のお手本となるような街づくり、人づくりを期待しております。製造業の拠点では大きな変化はないかもしれませんが、コロナ禍により、オフィスワーカーの仕事や生活のスタイルが変わりつつあります。通信インフラの整備などに加え、前述したような、人、文化、自然の魅力に富んだ秋田をもっとアピールできると思います。

また、SDGs、カーボンニュートラルなど比較的新しい社会課題に関し、秋田県は再生可能エネルギーの先進県でもあります。全国的には秋田のイメージとして農林水産業、祭りなど従来からのものが近い将来変わるかもしれません。

今の私の週末のささやかな楽しみは、秋田の思い出といふりがっこをつまみに冷やした秋田の銘酒を嗜むことです。秋田への思いは尽きることはありません。コロナ禍で不自由な毎日ですが、今年はぜひ訪問し、少しずつ変化している秋田を楽しみたいと思います。末筆ながら、商工会議所のますますのご発展と皆様のご健勝をお祈りしております。（この原稿作成中に東北地方の地震のニュースがありました。皆様に被害がないことを衷心よりお祈りしております。）

■略歴

1960年 兵庫県神戸市生まれ
1983年 北海道大学経済学部経済学科卒
三菱金属(株)(現在三菱マテリアル(株))入社
総務部秘書グループ長、関連事業室長他を歴任
2018年 三菱マテリアル(株)秋田製錬所所長
2021年 現職
現在の会社案内 以下のホームページご参照
<https://diasalt.co.jp/>